

2k-5100R
発行者寄贈

数理解析研究所講究録 721

代 数 の 整 数 論

禁帶出期間
2.7.5—7.12
数研図書室

京都大学数理解析研究所

1990年5月

序

この報告集は1989年12月6日から12月9日まで 京都大学 数理解析研究所で開かれた代数的整数論の研究集会の講演要旨を収録したものです。

この会は数理解析研究所と科学研究費総合A(代表者土方弘明氏)の援助により開かれました。感謝いたします。また土方弘明先生、白谷克巳先生、藤崎源二郎先生、山本芳彦先生、その他多くの方に助言をいただき、お礼を申しあげます。

研究集会世話人 加藤和也

プログラム

6日	7日	8日	9日
伊原	伊藤	塩田	辻
寺杣	山本		斎藤
吉田	市村	栗原(将)	
小屋			
加藤	佐藤	染川	
堀江	栗原(文)	金子	

講演要旨の配列は、内容の連続した市村、栗原(将)両氏のものをつないだ他は、講演順です。

代数的整数論

研究集会報告集

1989年12月 6日～12月 9日

研究代表者 加藤 和也 (Kazuya Kato)

目 次

1. $F_{0,n}$ $P_{\mathbb{C}}^1$ に付随するリー環の微分と $\text{Gal}(\bar{\mathbb{Q}}/\mathbb{Q})$ の像	1
京大・数理研 伊原 康隆 (Yasutaka Ihara)	
2. Braid 群の表現とその Hodge analogue について	9
千葉大・教養 寺杣 友秀 (Tomohide Terasoma)	
3. Non-holomorphic Poincaré 級数の Fourier 係数の別表示とその応用について	16
鹿児島高専 吉田 英治 (Eiji Yoshida)	
4. Class Formation の高次元化	32
東工大・理 小屋 良祐 (Yoshihiro Koya)	
5. 2次元正則局所環の Artin 指標	44
東大・理 加藤 和也 (Kazuya Kato)	
6. 基本アーベル体の狭義不分岐中心拡大について	53
九大・理 堀江 充子 (Mitsuko Horie)	
7. Dedekind 和と平方剰余記号	62
東大・教養 伊藤 博 (Hiroshi Ito)	
8. 楕円曲線の等分点の体について	80
阪大・理 山本 芳彦 (Yoshihiko Yamamoto)	
9. P -分体の Euler Systems について	87
横浜市大 市村 文男 (Humio Ichimura)	

10.	Kolyvagin による楕円曲線の Tate-Šafarevič 群についての仕事の紹介	102
	都立大・理 栗原 将人(Masato Kurihara)	
11.	\mathbb{Z}_p 上の測度の Γ -変換の λ -invariant について	117
	名大・理 佐藤 潤也(Junya Satoh)	
12.	円分体の単数の p 進展開について	131
	東工大 栗原 文香(Fumika Kurihara)	
13.	Mordell-Weil lattice と意義のある代数方程式の新しい系列	142
	立教大・理 塩田 徹治(Tetsuji Shioda)	
14.	Semi-abel 多様体に付随した Milnor 型の K 群について	160
	東大・理 染川 睦郎(Mutsuro Somekawa)	
15.	Singular Moduli と \mathbb{Q} 上の楕円曲線の supersingular prime	176
	阪大・理 金子 昌信(Masanobu Kaneko)	
16.	Mordell 予想の高次元化 (Faltingsの定理の紹介)	184
	都立大・理 辻 元(Hajime Tsuji)	
17.	局所体上の多様体の Brauer 群について	202
	東大・教養 斎藤 秀司(Shuji Saito)	